

青森県十和田市発祥の焼肉のたれ「スタミナ源たれ」とのコラボ商品 「おかず焼ビーフン スタミナ源たれ味」販売好調のご報告に 宮下宗一郎県知事を表敬訪問しました

ケンミン食品株式会社（兵庫県神戸市・代表取締役社長：高村祐輝）は、青森県十和田市発祥の焼肉のたれ「スタミナ源たれ」とコラボレーションした新商品「おかず焼ビーフン スタミナ源たれ味」の販売が好調であることを報告するため、2025年10月23日(木)15時30分より、青森県庁にて宮下宗一郎知事を表敬訪問いたしました。

本商品は、野菜がたっぷり入ったボリューム満点のおかずが簡単に作れる「おかず焼ビーフン」シリーズの第3弾として、2025年9月1日(月)より全国で発売を開始。青森・神戸間直行便の就航を機に、令和4年度から両地域間のビジネス連携を推進してきた取り組みの一環として、青森県十和田市発祥の「スタミナ源たれ」とのコラボレーションが実現しました。

当日は、全国63チェーン(うち東北エリア17チェーン)への配荷が予定されている本商品の好調な販売状況や今後の展開についてご報告し、青森県のご協力への感謝をお伝えしました。

宮下知事からは以下のようなお言葉をいただきました：

「この商品を通じて、青森県にはこんなおいしいものがあるのだと全国の皆さまに知っていただけるきっかけになりました。素晴らしい商品を作っていただき感謝しております。まさに『スタミナ源たれ』の味だとわかる味付けで、私たちが子どものころから親しんできた味をビーフンで再現するのはご苦労があったと思います。今後もおいしくて魅力あふれる商品を世に送り出していただきたいです。」

また、15時45分からはメディア関係者向けの発表・試食会も実施いたしました。

本商品は、2020年より展開している「47都道府県ケンミン焼ビーフンプロジェクト」の一環として開発されました。今後も青森・東北地域におけるビーフンの消費促進と、上北農産加工株式会社さまの西日本での認知向上に貢献してまいります。そして「おかず焼ビーフン スタミナ源たれ味」が青森県の新たな“県民食”となるよう、その魅力を広く発信してまいります。



中央左：ケンミン食品株式会社 代表取締役社長 高村祐輝、中央右：青森県知事：宮下宗一郎県知事
右から2人目：上北農産加工株式会社 小山田春夫社長

◎ 青森県との過去の取り組みリリースはこちらから→

<https://www.kenmin.co.jp/newsrelease/58253.html>



■ 本件に関するお問合せ窓口 ■

ケンミン食品株式会社 広報室 担当：田中（070-2273-8559）山崎（080-6616-7638）吉原（070-2450-4248）
TEL：078-366-2054 e-mail：kenminpr@kenmin.co.jp 〒650-0024 兵庫県神戸市中央区海岸通 5丁目1番1号



青森生まれの「スタミナ源たれ」とコラボ 「おかず焼ビーフン スタミナ源たれ味」9月1日(月)新発売

ケンミン食品株式会社(兵庫県神戸市・代表取締役社長:高村祐輝)は、新商品「おかず焼ビーフン スタミナ源たれ味」を9月1日(月)に全国で新発売します。野菜がたっぷり入ったボリュームのあるおかずが作れる、おかず焼ビーフンの第3弾です。今回は、青森発祥の焼肉のたれ「スタミナ源たれ」とのコラボが実現しました。

1 商品概要

- 商品名: おかず焼ビーフン スタミナ源たれ味
- 内容量: 103g (液体ソース53g+ビーフン50g)
- 販売地域: 全国のスーパーマーケット
- 賞味期限: 12か月
- 発売日: 2025年9月1日(月)
- 希望小売価格: 276円 (税別) / 298円 (税込)



おかず焼ビーフンスタミナ源たれ味

調理例

2 商品特長

○「スタミナ源たれ」味でごはんがすすむ

「にんにく」「りんご」などを使用し、焼肉や野菜炒めなど幅広い用途で青森県民から長く愛されている「スタミナ源たれ」の味を再現しました。濃厚でコクのあるたれが野菜とビーフンに染み込み、ごはんがすすむ満足感のある大皿メニューが作れます。

○子どもが好きな味付けで1食に必要な野菜をおいしく食べられる大皿おかず(1袋3〜4人前)

子どもが好きな「焼肉のたれ」の味つけで1袋360g以上の野菜を入れることができます。

○フライパンひとつで「4分」蒸し焼きの簡単調理

「おかず焼ビーフン」はフライパンで一度に調理するのが大変な家族分の大量の野菜を、4分蒸し焼きするだけで調理ができます。調理の負担をかけずに栄養バランスよい1品が作れます。

3 背景

①物価高騰中でも育ち盛りの子どもがいる家庭では、ごはんと野菜を食べる量はやや増加傾向

物価高騰で食品の値上がりが続く中でも、育ち盛りの子どもがいる家庭ではごはんと野菜を食べる量はやや増加傾向であることが、2025年4月に実施したインターネット調査※の結果から明らかになりました。(右図)

※自社調べ: インターネット調査/2025年4月/全国20〜60代/中学生・高校生・大学生の子どもがいる女性 (n=463)

②子育てしながら働く人の割合が10年間で約1.2倍!

総務省「令和4年 就業構造基本調査」によると子育てしながら働く人の割合は10年間で約1.2倍に増加しています。(右図)

③育ち盛りの子どもがいる家庭の食事に関する困りごとは「野菜不足」、食事で重視することは「子どもが好む味付け」・「短時間調理」

育ち盛りの子どもがいる家庭での困りごとは「野菜不足」が40.6%と最多、食事で重視するポイントは「子どもが好む味付け」(54.2%)、「短時間調理」(52.7%)が高いことが2025年4月に実施したインターネット調査※の結果から明らかになりました。

※自社調べ: インターネット調査/2025年4月/全国20〜60代/中学生・高校生・大学生の子どもがいる女性 (n=463)

